

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 1 月 26 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
SDGsを広報・啓発面で積極的に発信し、静岡県内におけるムーブメントを支え後押しする。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
当社の持つ媒体（新聞・ウェブ）を活用し、SDGs 関連情報を発信および、関連した協賛社等と連携したイベント、キャンペーンを展開する。さらに企業、団体、教育機関、行政等、さまざまな団体とのアライアンスを推進する。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022 年12月31日までの取組目標
	◇継続的な健康講座の実施	◇静岡がんセンターと協働による公開講座新シリーズ（全7回） ◇SBS健康増進センターと協働による継続的な紙面企画展開（計6回）	◇静岡がんセンターと協働による公開講座新シリーズ立ち上げ（全7回） ◇SBS健康増進センターと協働による継続的な紙面企画（2シリーズ）
	◇学校と企業を結ぶ「シツクリプロジェクト」に参加 ◇小学校授業支援事業の実施	◇シツクリプロジェクトにコミッティ企業として参画。プログラムには社員42名参加 ◇静岡大学特別講座15回実施 ◇SDGsQuestみらい甲子園静岡大会立ち上げ ◇出張授業50回以上実施	◇シツクリプロジェクトにコミッティ企業として参画 ◇静岡大学特別講座実施 ◇SDGsQuestみらい甲子園静岡大会実施
	◇女性の採用割合を増やすと同時に、女性管理職の登用を積極的に進める。 ◇男性の育児休業取得率の向上を図る	◇女性採用割合：前年度並み ◇管理職に占める女性管理職割合：前年度1.6ポイント増加 ◇男性育児休業取得向上：実績2名取得	◇配偶者が出産する男性社員へ育児休業に関する内容説明実施率100%とする。
	◇CO2の排出量を対前年比1%以上の削減の継続 ◇ハイブリッド車への移行	◇CO2排出量対前年比96.7% ◇ハイブリッド車への移行は進まず	◇CO2の排出量を対前年比1%以上の削減の継続
	◇デザイン思考研修の継続	◇合計7回のデザイン思考研修を実施し、延べ38人が参加	◇デザイン思考で学んだことを2件以上教育機関に還元する
	◇さらなるIT化=さらなるペーパーレス化の促進	◇月間での各部局でのコピー使用量の見える化を実施※計測はこれから	◇さらなるIT化=さらなるペーパーレス化の促進
	◇プロジェクトの継続。地域の学生をまきこんだ活動の拡大	◇県ボラ協との連携による高校生ボランティアツアー紙面企画展開 ◇BuddyBox2000箱以上の販売	◇BuddyBoxの継続
	◇古新聞回収システムの積極的な啓発活動	◇古紙を取り巻く環境が激変したため、積極的な継発活動ができなかった	新たな目標を設定中
	◇新労務管理システムを導入	全従業員にクラウド型人事労務ソフト導入（導入率100%）	新たな目標を設定中
	◇第3期活動実施	◇第三期活動開始、14エリアで毎月1回の定期活動および全県下での自主活動	◇第四期活動実施
その他	◇SDGsを前面に出した各種報道（新聞、ネット）活動を継続	◇1月より若者向けSDGsワッペンを作成し、SDGs特集を開始した	◇SDGsを前面に出した各種報道（新聞、ネット）活動を継続

(記載上の注意)

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	株式会社静岡新聞社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	5. 情報通信業	
3	従業員（構成員）数	415 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	大須賀紳晃
5	所 在 地	〒 422-8033	
		静岡市駿河区登呂3-1-1	
6	ホームページURL	https://www.at-s.com/	